

みんなからの祝福に、「ありがとう」

鈴木ミツエさん100歳顕彰

鈴木ミツエさん(田茂木)が、6月1日(金)に100歳の誕生日を迎え、入所先のすわんの里で濱館町長から顕彰状を受け取りました。6人の子宝に恵まれ、孫8人、ひ孫5人がいます。元気の秘訣を聞くと「朝は早く起きて、日課を毎日しっかりとこなすこと」と話していました。



町では、敬老思想の普及と生きがいを図るために、100歳の長寿をお祝いでいます。

青い空に青い海、新緑の香り！

第16回竜泊ラインウォーキング

6月3日(日)、竜泊ラインを観光資源として活用した観光振興を図ることを目的に竜泊ラインウォーキングが行われ、町内外から約300人が参加しました。今年は、鳥瞰台からPontomariを目指す約12キロコースと、Pontomariから坂本台を目指す約6キロの2つのコースで行われました。

Pontomariで行われた開会式には町イメージキャラクターの米ケル、イカリん、米ケルJr.がかけつけ、一緒にラジオ体操を行い、会場を盛り上げました。参加者らは、竜泊ラインの絶景に時折足を止めながら、それぞれのゴールを目指して歩きました。途中、別コースの参加者とすれ違うと、手を振ったり「もう少しだよ、がんばって」と声を掛け合ったりしていました。

ゴール後はつみれ汁、おにぎり、イカ焼きが振る舞われ、ウォーキングの疲れを癒しました。最後は、恒例お楽しみ抽選会。メバルなどの地元特産品が用意され、抽選番号が読み上げられるたびに、歓声が上がっていました。竜泊ラインウォーキングの参加者らは「天気がよく、気持ちのいい汗をかくことが出来た。景色だけでなく、波の音も聞こえるので、歩いていて気持ちよかった。また来年も参加したい」と話していました。

参加者の中には、昨年の竜泊ラインウォーキングを機に、再

びウォーキングを始めたという人もいました。昔はよく散歩などで歩いていたが、病気を経験してからは以前のように歩かなくなってしまったそうです。ですが、昨年の竜泊ウォーキングに思い切って参加したところ、歩くことが楽しくなり、他のウォーキングイベントにも参加するようになったと言っていました。それも、絶景や振る舞い、豪華抽選会といった竜泊ラインウォーキングの魅力が大きいと話していました。



来たれサイクリスト！

津鉄アモーレ考案のサイクリングコースを試走

津軽鉄道では、SNSサイクリングキャンペーンを実施しています。6月6日(水)にキャンペーンのモニタリングと利用促進のために、津鉄アモーレのメンバー4人と随行1人がサイクリングコースを試走しました。このコースは、中泊町のアモーレメンバーが考えたもので、今後コースとして確立を目指します。SNSサイクリングキャンペーンの詳細は、津軽鉄道までお問合せください。



乗って応援！！		津 軽 鉄 道
平成30年度 目標乗車人数	300,000人	
速報！！ 4月～6月分の 乗車人数	55,269人	
目標まであと…	244,731人	

津軽鉄道沿線をサイクリング！！ SNSでレンタサイクル！無料キャンペーン

津軽鉄道が行っているレンタサイクルを利用して津軽半島をサイクリングしてみませんか？自然や文化に恵まれた魅力溢れる津軽半島を巡って、世界中にその魅力を発信しよう！発信していただける方にはレンタサイクル利用料金を助成します！

期間 レンタサイクルステーション営業期間中(冬期休業)

対象 津軽鉄道沿線地域における津軽鉄道とサイクリングの楽しみ方について写真等を用いてSNS等で発信いただける方。情報発信していただける方には**レンタサイクル利用料金を助成**します。(助成は1人1回、1日分まで)

利用方法 ご利用日の前日までに**レンタサイクルをご予約ください**。レンタサイクル返却の際に、SNS等で情報発信したことが分かる画面を津鉄職員に提示してください。*SNS等をやっていない方は写真データと内容を津鉄職員に提供してください。職員が津鉄SNSで発信します。*レンタサイクル利用料金の助成には条件があります。詳しくはホームページまたは下記お問い合わせ番号まで。

貸出場所 津軽鉄道線(津軽五所川原)駅そば、津軽鉄道株式会社内レンタサイクルステーション

特に今年の目玉は、さなぶりが復活したことです。薄市小学校の児童が太刀振り用の棒を作る所から始まり、練習の成果を23日に披露し、会場を盛り上げました。



住民みんなで祖先と仏を供養

今泉賽の河原例大祭

祖先供養と仏供養を目的に今泉賽の河原例大祭運営委員会(委員長・江良浩二)が主催する今泉賽の河原例大祭が6月23日(土)に行われました。

例年は雨の日が多い例大祭ですが、今年は天候に恵まれました。霊場には地元をはじめ、多くの参拝者が訪れ、色とりどりの衣装を身にまとった33体の地蔵に線香やお菓子を供えたり、手を合わせて先祖の霊を供養していました。

運営委員会は、今年も霊場内の広場でさまざまなイベントを企画しました。薄市小学校児童の合唱やなにもさき踊り、薄市こども園児による歌やダンス発表、お山参詣保存会の津軽のお囃子演奏が披露されました。

また、ドップくじ引きなども企画され、子どもたちが参加して楽しんでいました。

「北海道新幹線とあらま号で中泊町に来て下さい！」

薄市小学校、修学旅行でPR活動

薄市小学校の6年生12人が、6月13日(水)から15日(金)にかけて修学旅行で、函館市に行き、函館駅前で観光客や市民に対して中泊町のPRを行いました。

薄市小学校ではPR活動に向けて、6月7日(木)に町役場水産商工観光課の職員と一緒に、声の掛け方や、興味を引くための話題、想定される質問などを話し合い、先生や職員を相手にPRの練習をしました。

また、6月8日(金)にはメバルの塩焼きを給食で食べました。メバルを初めて食べた子もおり、メバルの美味しさを体験し、メバルの理解を深めていました。

町では地方創生推進交付金事業(国庫補助事業)を活用して、たくさんの人にメバルの美味しさを伝える「メバルっ子」の育成として、学校給食でメバルの塩焼きを提供しました。



PRの練習のようす



給食のメバルの塩焼き



14日(木)には練習の成果を発揮し、道行く人に対して「青森県の中泊町から来ました。メバル膳がおいしいです。いいところなので、ぜひ遊びにきてください」と、はきはきと声をかけながら、特産品や町のパンフレットを手渡していました。

PRを終えた児童らは「最初は緊張したけど、中泊町に興味を持ってくれて嬉しかった。観光客がたくさんきてほしい」と笑顔で話していました。